

河川基金助成事業

「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」 報告書

助成番号：2022-7212-019

広島県三次市立塩町中学校

校長 藤井 清美

2022 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7212-019	「Shiomachi Rive Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」		三次市立塩町中学校			
所在地	広島県三次市大田幸町 10541 番地 2	対象河川名	江の川水系 馬洗川, 美波羅川, 国兼川			
対象学年	1 学年 (6 3 人)	主たる教科	総合的な学習の時間			
河川教育の目標	プロジェクト WET や各教科等の実践をもとに、総合的な学習の時間へリンクさせ、生徒に課題発見力を育成する					
育成したい資質・能力	課題発見力					
学習活動の内容と成果						
<p>[内容]</p> <p>本校が三次市の「避難所」の指定を受けていることから、<u>防災に視点を置き、「避難所として適切であるのか」</u>について考え、多面的・多角的に検証した。また、その観点の一つである「河川・水」においても検証していくことで、生徒一人一人が避難する避難所についても同様に課題を考え、新たな提案を行った。</p> <p>[成果]</p> <p><u>多面的・多角的に検証するための視点</u>として、次の 9 つのテーマを生徒が挙げた。</p> <p>①避難所の備蓄品、②避難施設としての適性、③避難所としての地形、④ 避難する際の経路 ⑤避難所としての適性、⑥避難する際の準備物、⑦ 避難所としての地盤、⑧避難する際のタイミングや警報 ⑨避難者にとって適切な場所</p> <p>また、教科横断的な内容の視点において、理科・社会・道徳とのつながりを図った。</p> <p>生徒は、自分たちの学校や住んでいる地域においても、「避難所として決まっているから」ではなく、根拠を踏まえ、より安全に安心して活用できる避難の仕方、避難所について順序立て、水との様々な点における関係性についても考えることができた。</p>						
学びの創意工夫点	本校が市の指定の避難所であることから、昨年度までの「避難所を考えよう」から、今年度は、「避難所として適切であるのか」について考えることに力点を置いて学習を進めた。また、本学年は 1 3 の小学校区から構成されているため、 <u>生徒の各家庭の避難所についても考えさせ、個人思考、集団思考、個人思考へと学習をつなげた。</u>					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	自分たちの学校や住んでいる地域において、「避難所として決まっているから」ではなく、多面的・多角的な視点で根拠を踏まえ、より安全に安心して活用できる避難所に考えることで、「河川・水」は、私たちが生きていくために必要な資源としての水といった面だけでなく、災害をもたらす面の両面があることについて考えることができた。					
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援の概要	ボーリングを行う企業に学校のボーリング資料をもとに地盤について解説を行っていただいた。					
成果発表	成果作品			発表方法		
	模造紙 個人レポート			模造紙を用いて、ワールドカフェ形式で行った。		
今後の課題・展開						
評価としては、グループ (模造紙) や生徒 (個人レポート等) の成果物、行動観察等により評価を行った。実践の前後にアンケート等をとるなど、生徒の変容から、この取組がどのような効果、関係性があるか、また内容の精選を図る上でも検証方法について吟味していく必要がある。						

・ キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

河川教育学習活動報告書 【複数学年】

(NO. 1)

1.助成事業名	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」		学校名	三次市立塩町中学校			助成番号	2022-7212- 019			
2.河川教育の目標	防災に視点を置いた「避難所」づくりを通して、現在の「河川・水」の利点面・課題面の両面について考えることができる。										
3.育成したい資質・能力	課題発見力										
4.単元構想	1学年 63人 《テーマ》塩町中学校は避難所として適切であるのか										
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
単元目標	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 防災に視点を置いた「避難所の適正」を通して、根拠を基に多面的・多角的に検証し、自らの避難所についても考え、防災意識を高めることができる。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 【興味・関心を持つ】【自分事とする】 ・「河川・水」は、私たちにとって必要な資源としての水といった面だけでなく、災害をもたらす面の両面があることを確認する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 【知識を得る】【知識・考えを深める】【疑問や課題を発見する】 ・避難所に対する適性を多面的に考え、根拠を踏まえて検証する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> 【まとめ】【次年度にむけて】 ・各テーマにおいて、グループごとに、検証することができる。 ・自らの考えを根拠をもとにレポートにまとめることができる。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> 関連教科：年間を通して、各教科で河川・川に関する学習を実施し、関連を図っていく。 </div>										
	主な学習活動	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> 理科 「地盤」 ○避難所に指定されている本校の地盤と地形に関して、理解を深める。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> 社会 「地形」 ○本校周辺の地形を他地域と比較し、特徴について理解を深める。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> 道徳 「D 感動、畏敬の念」 ○自然や生命といった人間の力を超えたものに対して理解を深める。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> 総合 「避難所について」 ○「避難所」の適正について、どのような視点に着目し、検証を図っていく必要があるのか考える。 ○各テーマごとに、調査・研究をする。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 18%;"> 総合 「まとめ」 ○テーマにおいて、根拠を踏まえ、グループ単位で発表する。 ○各グループの発表を聞いて、自分の考えをまとめ、レポートにまとめる。 </div> </div>									
評価の観点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> ○根拠を基に、地盤と地形との関わりについて説明することができる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> ○本校の地形と他地域との地形を根拠を基に、比較・検討することができる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> ○自他の生命をかけたがえのないものとして大切にしている心情をはぐくむ。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> ○各テーマについて、目的・仮説・考察等、論理的に検証することができる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 18%;"> ○相手意識をもって、根拠を踏まえて説明できている。 ○各テーマの根拠に基づいて、自らの考えをまとめ検証できている。また、自らの避難所について、防災について考えるできている。 </div> </div>										

1.助成事業名	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」	学校名	三次市立塩町中学校	助成番号	2022-7212- 019
---------	---	-----	-----------	------	----------------

5.実際に行った単元構成

注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---

防災に視点を置いた「避難所の適正」を通して、根拠を基に多面的・多角的に検証し、自らの避難所についても考え、防災意識を高めることができる。

【興味・関心を持つ】【自分事とする】

・「河川・水」は、私たちにとって必要な資源としての水といった面だけでなく、災害をもたらす面の両面があることを確認する。

【知識を得る】【知識・考えを深める】【疑問や課題を発見する】

・避難所に対する適性を多面的に考え、根拠を踏まえて検証する。

【まとめ】【次年度にむけて】

・各テーマにおいて、グループごとに、検証することができる。
・自らの考えを根拠をもとにレポートにまとめることができる。

関連教科:年間を通して、各教科で河川・水に関連する学習を実施する。

学習活動の結果

【社会】

・旧市章には市に流れる3つの河川がデザインされていることやその河川の特徴、世界の様々な地域では、課題解決に水が大きく関わっていることについて学習した。
・地形図を読み取り、グループで気づいたことをまとめた。



【調査・研究】

・「避難所」として適性について、どのような調査をする必要があるのかについて考えた。
・その内容をテーマ別にグループ化し、調査・研究を進めた。その際、そのテーマにおける動機・目的・仮説・考察等、論理的に説明することができるようにグループで考え、まとめた。



【まとめ・発表会】

・各テーマでグループを編成し、根拠を踏まえ、考察した内容を発表した。また、各テーマごとの発表を聞いて、自分の考えをまとめ、個人レポートを作成した。



6. 得られた成果

・社会科、理科など、教科横断的な内容の視点をもって取り組むことができた。
・「避難所」が行政に設定されているからという観点から、「避難所」として適切であるのかというゼロベースからの観点で考えることにより、多面的・多角的な視点で考えることができた。

7. 河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果

防災の視点で、「避難所」について考える上で、地形や地層、様々なテーマにおいて、調査・研究を進め、根拠を踏まえてまとめていくと、必ず、「河川・水」との結びつきが明らかになった。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-019	「Shiomachi Rive Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」	三次市立塩町中学校



学習活動名：「社会」

日付：2022/9/21

見られた子どもの姿：

実際に地形図から三次の河川などを調べさせたことにより、生徒が自ら三次を流れる河川の特徴について知ることができた。また、旧市章や三次のご当地キャラクターから、三次市は河川と縁が深いということが知ることができた。



学習活動名：「調査・研究」

日付：2022/10/12

見られた子どもの姿：

テーマごとに、グループで、様々なデータや聞き取り等を踏まえ、論理的にまとめようとしていた。模造紙を用い、どのようにすれば、相手に伝えることができるか考える姿が見られた。



学習活動名：「まとめ・発表会」

日付：2022/11/29

見られた子どもの姿：

テーマをもとに、仮説、考察等、「避難所」の適正について、自分たちの考えを伝えようとしていた。また、他のテーマの内容を聞くことで、自分たちのテーマも踏まえ、自分自身は「避難所」の適正について、どのように考えるか根拠に基づいてまとめようとする姿が見られた。

注) 写真は校外や学校・教室での学習活動ごとに添付してください (枚数が多くなくても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7212-019	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」		三次市立塩町中学校			
所在地	広島県三次市大田幸町 10541 番地 2	対象河川名	江の川水系 馬洗川, 美波羅川, 国兼川 吉野川水系 吉野川			
対象学年	2 学年 (67 人)	主たる教科	総合的な学習の時間			
河川教育の目標	プロジェクト WET や各教科等の実践をもとに、総合的な学習の時間へリンクさせ、生徒に課題発見力を育成する					
育成したい資質・能力	課題発見力					
学習活動の内容と成果						
<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科「100年後の水を守る」での学習や、理科の単元「雲のでき方」や「メダカの生態」の学習といった教科の学習内容と総合的な学習の時間の「河川・水教育」と関わらせながら学習した。 ・今年度の総合的な学習の時間の取組を昨年度の総合的な学習の時間で行った「理想的な避難所について考える」学習とつなげ、修学旅行で訪れた吉野川の特徴と比較しながらカテゴリー別 (※) の学習を行った。 ※ カテゴリー (行事, 自然環境, 生物, 歴史, 防災, 利水) ・三次, 香川両県でそれぞれの河川事務所等から講師を招いて学習会を行った。 <p>[成果]</p> <p>教科との関わり, 昨年度の学習との関わり等, 様々な角度から学習を進めたことで, 地域の河川に対する意識を高めることにつながった。</p>						
学びの創意工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・行事との関連 修学旅行で訪れた吉野川で学習場面を設け, 自分たちの地域の馬洗川をそれぞれの自然や歴史, 生活といった様々な視点から比べることにより, 身近な河川を深く学ぶことができた。 ・教科との関連 教科の内容で「河川・水」に関係する内容を取り出して深く学習するようにしたことにより, 総合的な学習の時間で扱う内容の深めさせることができた。 ・専門家の視点からの学び 河川事務所等の専門家から話を聞くことにより, 通常, 気づきにくい多面的な視点, 深い視点から地域の河川を見つめなおすことができた。 					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	地域の河川について, 様々な疑問, 発見を見出すとともに来年度の「河川・水」の個人研究に向けて意欲を高める様子が見られた。					
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館, 資料館) 等		関係団体 (漁協, 農協) 等		企業	その他
支援の概要	河川の特徴についての講義等を実施					
成果発表	成果作品			発表方法		
	グループごとのスライドによる資料作成			発表会を設けてグループで発表を行い, 相互評価を行う。		
今後の課題・展開						
2 年次の学習では, グループで課題を設定し, 探究学習を行ったが, 3 年次では, 1, 2 年次の取組を踏まえて個人で「河川・水」に関係するテーマを決め, 調査・研究を行い, 発表会で発表する。						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

河川教育学習活動報告書 【複数学年】

(NO. 1)

1.助成事業名	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」		学校名	三次市立塩町中学校				助成番号	2022-7212- 019		
2.河川教育の目標	プロジェクト WET や各教科等の実践をもとに、総合的な学習の時間へリンクさせ、生徒に課題発見力を育成する										
3.育成したい資質・能力	課題発見力										
4.単元構想	2 学年 6 6 人		《テーマ》私たちの生活と江の川								
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
単元目標	三次市の河川に興味・関心を持ち、江の川流域の課題を見つけ、川と共にある生活やまちづくりについて考えることができる。										
	【興味・関心を持つ】【自分事とする】 ・水・川は私たちが生きていくうえで欠かせないものであることを確認する。 ・私たちの暮らす三次市は3つの川が合流する地形であること、まちづくりでも川を生かした都市計画が作成されていることなどから、河川学習を行う意義を見つめる。			【知識を得る】【知識・考えを深める】【疑問や課題を発見する】 ・調べ学習を行い、江の川について理解する。 ・出前授業を実施し、専門的な知識を得て、江の川について理解を深める。 ・修学旅行で吉野川を訪れて学習し、江の川と比較することで理解を深める。				【まとめ】【次年度にむけて】 ・グループで1年間の学習についてまとめ、分かりやすく伝える。 ・江の川流域の課題について、自分なりの考えを持つことができる。			
主な学習活動	関連教科:年間を通して、各教科で河川・水に関連する学習を実施する。										
	理科 「水の循環」 ○水が雲、川、海、土の中など様々な場所を循環していることを理解する。	理科 「メダカの生態」 ○水流や景色の変化によってメダカの泳ぎ方がどう変わるのか、それが自然の河川の中でメダカの生活にどう役立っているのかを考える。	国語 「100年後の水を守る」 ○地球には水が不足しているという事実を学び、未来に向けて利用の仕方を考える。	総合 「江の川について①」 ○書籍やインターネットから、江の川について調べ、ワークシートにまとめる。	総合 「江の川について②」 ○国土交通省三次河川国道事務所による出前授業を行い、江の川について、より専門的な知識を得る。	総合 「吉野川について」 ○吉野川について調べる。 ○吉野川を訪れ、現地で学芸員による出前授業を行い専門的な知識を得る。 ○江の川と吉野川の比較を行い、理解を深める。	総合 「まとめ」 ○今までの学習をまとめ、課題を見つける。 ○グループごとにテーマを設定し、分かりやすくまとめて発表をする。				
評価の観点	○河川と気象の関係を学習し、地形や風土との関連を理解することができる。 ○河川の流れと生物との関係を理解することができる。 ○バーチャルウォーターの存在を理解し、水がどう自分たちの生活と関わっているのかを理解することができる。 ○江の川について調べてまとめることができる。 ○調べながら江の川について興味関心をもつことができる。 ○江の川についてより専門的な知識を学び、理解することができる。 ○理解を深めることで新たな疑問や課題を見つけようとしている。 ○吉野川(他県の川)について理解することができる。 ○他の川との比較を通して、江の川の特徴を捉えることができる。 ○他の川との比較を通して、新たな疑問や課題を見つけようとしている。 ○図やグラフ、写真などを効果的に用いて、まとめている。 ○わかりやすく他者へ伝えようとしている。 ○まとめの活動をしながら、三川が合流する三次市のまちづくりについて、市民の一人として考えようとしている。										

1.助成事業名	Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～	学校名	三次市立塩町中学校	助成番号	2022-7212- 019
---------	---------------------------------------	-----	-----------	------	----------------

5.実際に行った単元構成
 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---

三次市の河川に興味をもち、江の川流域の課題を見つけ、川と共にある生活やまちづくりについて考え、まとめ、分かりやすく伝えよう。

【興味・関心を持つ】【自分事とする】
 ・水・川は私たちが生きていくうえで欠かせないものであることを確認する。
 ・私たちの暮らす三次市は3つの川が合流する地形であること、まちづくりでも川を生かした都市計画が作成されていることなどから、河川学習を行う意義を見つける。

【知識を得る】【知識・考えを深める】【疑問や課題を発見する】
 ・調べ学習を行い、江の川について理解する。
 ・出前授業を実施し、専門的な知識を得て、江の川について理解を深める。
 ・修学旅行で吉野川を訪れて学習し、江の川と比較することで理解を深める。

【まとめ】【次年度にむけて】
 ・グループで1年間の学習についてまとめ、分かりやすく伝える。
 ・江の川流域の課題について、自分なりの考えを持つことができる。

関連教科:年間を通して、各教科で河川・水に関連する学習を実施する。

学習活動の結果

【江の川について①】
 ・江の川について、インターネット中心に調べ、ワークシートにまとめた。
【江の川について②】
 ・国土交通省三次河川国道事務所による出前授業を実施した。



【吉野川について】
 ・江の川と長さと同じくらいの吉野川について事前に調べ学習を行った。
 ・修学旅行で四国を訪問し、徳島県立博物館で学芸員による出前講座を実施した。吉野川の概要・生態系・植物・流域・歴史などについて学び、理解を深めた。
 ・修学旅行後、江の川と吉野川の比較内容をワークシートで整理した。



【まとめ・発表会】
 ・学習グループを編成し、テーマを設定し、Google クラスルームのスライド機能を用いてまとめ、発表会を行った。



6. 得られた成果
 他県の長さが同程度の河川と様々な面から比べたことで、地元の河川の特徴や良さに気づいた。

7. 河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果
 様々な角度から学習を進めたことで、地元の河川に対する意識が高まった。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-019	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」	三次市立塩町中学校



学習活動名：出前授業①「江の川について理解する」

日付：2022/11/18

見られた子どもの姿：

身近にある河川について詳しく知ること興味をもって聞いていた。



学習活動名：出前授業②「吉野川と比較してみる」

日付：2022/12/7

見られた子どもの姿：

今まで調べてきた地元の河川と比較することでその違いを理解しようとしていた。



学習活動名：河川学習発表会

日付：2023/2/24

見られた子どもの姿：

互いの発表を聞き合うことで、自分とは違った視点での調査に興味をもちながら理解しようとしていた。

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7212-019	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」		三次市立塩町中学校			
所在地	広島県三次市大田幸町 10541 番地 2	対象河川名	江の川水系 馬洗川, 美波羅川, 国兼川			
対象学年	3 学年 (58 人)	主たる教科	総合的な学習の時間			
河川教育の目標	プロジェクト WET や各教科等の実践をもとに、総合的な学習の時間へリンクさせ、生徒に課題発見力を育成する					
育成したい資質・能力	課題発見力					
学習活動の内容と成果						
<p>[内容] 総合的な学習の時間に、1, 2 年生で学習したことを踏まえ、発見した課題を個人で探究する調査・研究学習を行った。テーマは「水、河川」に関する、防災、治水、水質、生態系、生活、産業などである。これらの内容を、グループスライドにまとめ、<u>他学年や保護者の前で一人ずつ発表</u>した。</p> <p>[成果] ・1 人 1 研究として個人で「水、河川」に関するテーマを定め、夏休みを利用して各自積極的に研究に取り組むことができた。 ・身近な事柄を研究テーマに設定し、実験や現地調査を行い、その結果を基に考察し、まとめへとつなげていくことができた。 ・それぞれの研究内容が多岐にわたっていたが、発表を行うことで、その研究内容を共有することにより、一人一人の生徒が「水、河川」を多面的にとらえ、考えを深めることができた。</p>						
学びの創意工夫点	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業中に、現地調査や実験を行った。 ・班内発表会を行い、他者からの客観的な意見を参考に、発表内容をより深めさせた。 ・タブレットで発表の様子を撮影することで、発表時に気を付けることを意識させた。 					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> ・各自のテーマに関して、現地調査や実験をして深く追及することで、水を身近にとらえることができるようになった。 ・国語科で学んだ内容から自分の研究テーマにつなげて深めていた生徒もおり、教科横断的な学習の成果が表れていた。 ・高校入試における自己表現（面接）の内容に「水、河川」についての調査・研究内容を取り入れ、海外に関心をもち、多くの言語を習得したいという将来の夢や意欲につながった生徒もいた。 					
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関（博物館、資料館）等		関係団体（漁協、農協）等		企業	その他
支援の概要						
成果発表	成果作品			発表方法		
	各生徒が研究をまとめたプレゼンテーション資料			Google スライド		
今後の課題・展開						
<ul style="list-style-type: none"> ・個々が設定した課題に対し、調査、研究を進める際、インターネットの情報に頼りすぎて、深い理解をすることができない部分もあった。研究を進める際の方法について、丁寧に指導していく必要がある。 ・調べたことを相手にわかりやすく伝えるようにすることをねらいとして、発表会を行うことも視野に入れ、表現する力を高めていく。 						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。




河川教育学習活動報告書 【複数学年】

(NO. 1)

1.助成事業名	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」		学校名	三次市立塩町中学校				助成番号	2022-7212- 019			
2.河川教育の目標	河川に対する自分の興味・関心を踏まえ、調査したい内容を決め、これまで自分が学習した内容と結び付けながら探究し、自分なりの「答え」を見つけ出すことができる。また、調査してわかったことを相手に伝えるために最も効果的な方法でまとめ、聞き手に分かりやすく発表することができる。											
3.育成したい資質・能力	思考力・判断力・表現力, コミュニケーション力, 課題発見力, キャリア形成力											
4.単元構想	3学年 57人 《テーマ》											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
単元目標				課題設定, 研究計画, 調査・研究 河川に対して自分の調べたいテーマを設定し, 自分なりの問いを立て, 自分なりの答えを見付けることができる。答えを見つけるために必要な情報を様々な方法で集め整理・分析して結果をまとめることができる。 10時間		調査・研究まとめ, 発表準備, 発表, まとめ 調査結果をまとめることができる。ポスターやプレゼンテーションソフト等, 自分の研究に最もふさわしい方法を使って, わかりやすく発表することができる。 27時間						
				(1)オリエンテーション (2)キャリアデザイン (3)テーマ設定	(4)夏休みを利用した個人調査	(5)まとめ作業 (6)発表準備	(7)班内発表 (8)発表内容の改善 (9)発表会 (10)振り返り(塩中タイム)					
主な学習活動												
評価の観点				○自分の立てた問いに対して, 情報を集める方法を身に付けている。【知識・技能】 ○河川に関する課題を発見し, その解決に向けて自分なりの問いをつくることができる。【思考力, 判断力, 表現力等】 ○仲間と協働し, 各自の研究テーマや問いを設定し, アドバイスをしあいながら互いの「調査・研究」をより良いものにしようとしている。【学びに向かう力, 人間性等】	○集めた情報を整理・分析する方法を身に付けている。【知識・技能】 ○問いに対する自分なりの答えを導き出すため情報を収集することができる【思考力, 判断力, 表現力等】 ○自らの「調査・研究」に最後まで粘り強く取り組もうとしている。【学びに向かう力, 人間性等】	○整理・分析したことを相手に適切に表現する方法を身に付けている。【知識・技能】 ○整理・分析しながら調査を進めることができる【思考力, 判断力, 表現力等】 ○自らの「調査・研究」に最後まで粘り強く取り組もうとしている。【学びに向かう力, 人間性等】	○日常生活や学習と将来の生き方との関係を理解し, 今の学習の必要性や大切さを理解する。【知識・技能】 ○分かったことを聞き手に分かりやすく伝えることができる。【思考力, 判断力, 表現力等】 ○調査活動を通して付けた力を自分の将来の夢や進路の実現に関連付けてとらえている。【学びに向かう力, 人間性等】					

1.助成事業名	「Shiomachi Rive Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」	学校名	三次市立塩町中学校	助成番号	2022-7212-
---------	--	-----	-----------	------	------------

5.実際にを行った単元構成
 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
学習活動の結果	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">課題設定, 研究計画, 調査・研究</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>2学年次の学習を振り返り、河川に関する内容について個人的に関心のあるテーマを見つけ、調査・研究方法についても計画を立てた上で、夏休みを利用し研究を行った。</p> </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">関連教科：総合37時間</p> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 5px;"> <p>(1)オリエンテーション (2)キャリアデザイン (3)テーマ設定</p> <p>○1, 2年生の学習を踏まえ、発見した身近な事柄から、課題を個人で探求した。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(4)夏休みを利用した個人調査</p> <p>○インターネットや図書館等で調べ、情報収集を行った。 ○国語科の学習内容を自分の研究テーマにつなげて深めたり、現地調査や実験をしたりし、発表の素地を気づくことができた。</p> </div> </div> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">調査・研究まとめ, 発表準備, 発表, まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>タブレット(ゲーグルスライド)を使用して、調査結果をまとめたり、発表原稿を作ってわかりやすく伝わるよう練習を重ねたりし、聴衆の前で発表した。</p> </div> <div style="display: flex;"> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 5px;"> <p>(5)まとめ作業 (6)発表準備</p> <p>○授業時間に加え、休日を使って家庭でも作成させることができた。 ○発表の仕方の指導を行い、資質・能力の向上に努めた。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(7)班内発表 (8)発表内容の改善 (9)発表会 (10)振り返り (塩中タイム)</p> <p>○自分の発表の様子を他者にタブレットで撮影してもらうことで、自図からの姿を客観的に振り返ることができた。 ○各自のテーマに関して、深く追及することで、水を身近にとらえることができるようになった。</p> </div> </div> </div> </div>										
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>										

<p>6. 得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1研究として個人でテーマを定め、夏休みを利用して各自積極的に研究に取り組んでいた。 ・身近な事柄を研究テーマに設定し、実験や現地調査を行い、その結果を基に考察し、まとめへとつなげていくことができた。 ・国語科で学んだ内容から自分の研究テーマにつなげて深めていた生徒もおり、教科横断的な学習の成果が表れていた。 ・高校入試における自己表現の内容に「水」についての調査・研究内容を取り入れ、海外に関心をもち、多くの言語を習得したいという将来の夢や意欲につながった生徒もいた。 	<p>7. 河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自のテーマに関して、現地調査や実験をして深く追及することで、水を身近にとらえることができるようになった。
--	--

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-019	「Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～」	三次市立塩町中学校



学習活動名：「調査・研究」まとめ
 日付：令和4年9月27日(火)
 見られた子どもの姿：

夏季休業中に収集した情報をもとに、スライドを作成した。
 現地調査や実験の様子、わかりやすい説明を載せ、工夫することができた。



学習活動名：「調査・研究」グループ発表会
 日付：令和4年10月6日(火)
 見られた子どもの姿：

班内で発表を行った。スライドや発表方法に対する感想や改善点を記録するシートを活用し、交流した。
 発表当初は、聴く相手を意識した発表や姿勢でできていなかったが、客観的な意見を踏まえることで、発表するときの態度・目線・話し方などの所作に気を付けることができた。



学習活動名：「調査・研究」発表会
 日付：令和4年10月19日(水)
 見られた子どもの姿：

学校内の14か所に設けられたブースで、他学年や保護者に来てもらい、時間をずらして一人計2回発表を行った。
 クイズ形式の発表に対して聴衆に答えてもらったり、最後の質疑応答で臨機応変に対応したりすることができた。

注) 写真は校外や学校・教室での学習活動ごとに添付してください(枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。)

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-019	Shiomachi River Learning ～たゆるなき馬洗の流れ～	三次市立塩町中学校

主な実施箇所 徳島県アスティとくしま

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)
 ※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。



助成事業の主な実施箇所